

第4期 ながさき農林業・農山村活性化計画（仮称）のポイント

【基本理念】：「快適で儲かる農林業・快適で暮らしやすい農山村の実現」を目指します

I 意欲あふれる経営力の高い担い手の確保・育成

R12 目標 ◆新規就農者数 235名/年 → 265名/年

I-1 次代を担う農業人材の確保・育成

- 産地自らが就農希望者を呼び込む取組の強化
- 就農研修後の円滑な就農に向けた園芸圃地整備、樹園地継承の推進 等



就農希望者への技術研修

R12 目標 ◆産地計画に基づき担い手を呼び込む産地数 115産地
◆認定農業者に占める女性の割合 6.6%→7.0%

I-2 儲かる農業経営体の育成

- 認定農業者等の更なる所得向上
- 外国人材、**農業支援サービス**による労働力確保

R12 目標 ◆認定農業者の農業所得 555万円→600万円
◆認定農業者数 4,760経営体
◆農作業支援者数(特定技能外国人材) 188人→300人



外国人材による農作業支援

III 賑わいのある安全・安心な暮らしやすい集落づくり

III-1 集落機能の発揮に必要な資源保全活動の展開

- 草刈りなど資源保全活動のアウトソーシング化

R12 目標 ◆資源保全活動取組面積 24,909ha→25,000ha
◆サービス事業者等活用集落数 24集落



ラジコン草刈り機による水田法面除草作業

III-2 災害に強い安全・安心な集落づくり

R12 目標 ◆老朽ため池・山地災害危険地区着手箇所 1,033箇所

III-3 集落全体の所得を向上させる地域ビジネスの拡大

- 直売所、農泊等、アグリビジネスの推進 等

R12 目標 ◆農泊宿泊者数及び日帰り体験者数 51,528人/年→80,000人/年
◆アグリビジネス売上額 124.6億円→152.5億円



交流人口拡大推進(米づくり体験)

II 生産性の高い足腰が強く活力ある産地の形成

R12 目標 ◆農業産出額 1,590億円 → 1,647億円
◆生産農業所得 561億円 → 626億円

II-1 環境変化に強く生産性の高い産地づくりの推進

- スマート技術による生産性向上、**気候変動対策の推進**
- 産地計画を基軸とした生産振興とコスト縮減
- 農業のグリーン化推進** 等

R12 目標 ◆産地計画策定産地の販売額 1,006億円→1.093億円
◆水稻高温耐性品種の選定
◆環境制御技術等導入面積 69.9ha→132.8ha



野菜のドローン防除

II-2 収益向上を支える生産基盤の整備

- 農地基盤整備の推進と集出荷施設の再編整備
- 地域計画の実現**に向けた取組推進 等

R12 目標 ◆農地基盤整備面積 17,922ha→18,332ha
◆担い手の農地利用集積率 47%→70%



農地基盤整備

II-3 農産物の流通及び販売力の強化

- 輸出拡大に向けた産地育成
- 本県農産物の価値を高める **バリューチェーン構築** 等

R12 目標 ◆農産物の輸出額 8.5億円 → 15.0億円



タイでの長崎和牛フェア

II-4 生産性の高い木材・特用林産物生産体制の構築

- 女性や外国人材等、新規林業就業者確保を推進
- スマート林業技術の導入、生産性の高い作業システム構築 等

R12 目標 ◆木材産出額 14.6億円 → 15.5億円
◆林業就業者 359人 → 370人
◆木材生産量 16万8千m³ → 18万m³



高性能林業機械による作業